

ALを学力向上につなげる「AL指数」と「R80」

茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司
2016.9.1

私は、2015年4月より「アクティブ・ラーニング」(AL)について研究を進めています。さて、2015年は、まさに「高校アクティブ・ラーニング元年」と言える年でした。私は、多くの研修会やセミナーに積極的に参加して勉強させていただきました。また、多くのAL型授業も実際に見学しました。そして、私自身が完全に「**アクティブラーナー (能動的学習者)**」になりました。

2016年は、「高校アクティブ・ラーニング・セカンドステージ」だと思っています。

ALには、大きく分けて「**イベント型**」と「**通常授業型**」がありますが、現在、先生方が追究しているのは、「通常授業型」だと思います。私は、多くのAL型授業を見ていて、次のことが**課題**であると考えています。

- ① AL型授業が形だけになってはいないか。
- ② アクティブラーナー (能動的学習者) の育成という目的に向かっているか。
- ③ ALか講義かという二項対立的な議論になっていないか。
- ④ ペアワークやグループワークだけで学力は向上するのか。

③の課題に対して、2016年3月に私が考案したのが「**AL指数**」です。

1. 「AL指数」とは、**ALの実施率**を示す指数です。
2. 50分授業で AL5分なら「AL10」、AL10分なら「AL20」です。
3. 週5時間の授業でAL1時間の場合も「AL20」です。

私は、高校の授業は、たいへん指導内容が多いため、従来の知識伝達型の**講義も大切**だと思っています。現在、私の考える高校ALの理想は「**AL20**」です。高校ALは、講義にALを入れる「**ハイブリッド型**」がいいと考えています。最初は、**スパイス**のようにペアワークを入れることから始めるといいと思います。

また、この「AL指数」を活用することで、今後「ALの研究」が進むものと考えています。たとえば、ALの効果の検証等に、この指数を横軸として使うことができるということです。

次に上記④の課題に対応するために、2016年5月に考案したのが「**R80**」です。

1. 「R80」の読みは「**アールエイティーン**」です。
2. Rは「**リフレクション (振り返り)**」と「**リストラクチャー (再構築)**」のRです。
3. 80は、**自分で80字以内の文章を書く**という意味の80です。
4. 基本ルール①……ALの最後に、リフレクション (振り返り)として、ペアやグループで話し合ったことなどを、リストラクチャー (再構築)して、80字以内で書きます。
5. 基本ルール②……必ず**2文** (2センテンス) で書き、その2文を**接続詞**で結びます。
6. 目的……思考力・表現力・**論理力**を育成します。→それが**学力向上**につながります。
7. なぜ2文80字以内か…1文は50字前後が理想とされています (簡潔に明確に書く)。
★「新テスト」における短文記述式問題の文字数が80字以内とされています。

私は、ALは「**学力向上**」が伴うことによって、さらに広がっていくと思っています。

そのために考案したのが「R80」です。確かに少しハードルが高いかもしれませんが、ALを「セカンドステージ」に引き上げるための**アイテム**だと思っています。

今後、多くの先生方の工夫・改良を経ながら「R80」が全国の教室に広がっていくことを期待しています。

- ◆今回、私の考案した「R80」の様式のエクセルデータとPDFを提供いたします。
- ◆自由に改良してお使いいただいて結構です。

私の考える「アクティブ・ラーニング」の目的は、「アクティブラーナー (能動的学習者)」を育成することです。「アクティブラーナー」になると、**毎日が明るく楽しく充実します**。

そして、「アクティブラーナー」ならば、**AI** (人工知能) 等の発達により大きく変化する未来にあっても、柔軟に対応していけると、私は信じています。

今日、「**AL宝箱**」を開いてくれた皆さん、一緒に**未来の教育**をつくって行きましょう。